

2010 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 2 月 5 日作成)

小委員会名	テンション構造小委員会		主 査 名：岡田 章 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (シェル・空間構造運営委員会)		委員長名：中島 正愛 主 査 名：小河 利行
設 置 期 間	2008 年 4 月 ～ 2012 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	ケーブル構造の現行ディテール設計手法に関して調査と分析・評価を行う。 (1) 既往の接合部の設計手法の整理 (2) 上記、分析・評価軸の作成と検討対象建物の絞り込み (3) ディテールの設計手法や設計クライテリアなどに関する分析・評価 (4) ディテールの設計手法の整理と問題点の分析		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無： 無		
	岡田章(主査：日本大学)，宮里直也(幹事：日本大学)，形山忠輝(日本鑄造)，斎藤公男(日本大学)， 齊藤嘉仁(太陽工業)，杉内章浩(竹中工務店)，田畑博章(大林組)，陳沖山(八戸工業大学)，中島 肇(清 水建設)，浜崎勇二(神鋼鋼線工業)，原田公明(日建設計)，樋口聡(鹿島建設)，廣瀬一正(川口金属工 業)，中川路勇(大成建設)，矢島卓(東京製綱)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2010 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除 く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナ ー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブ リックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られ た成果との関係)	1. 議論・分析を通じて、設計時におけるテンション構造の問題点が整理できた。 2. 問題点の整理、分析と評価軸の作成、作品の絞り込みは、作業途中である。 3. 特にディテールの設計手法、クライテリアに関して、問題点の分析、評価の 作業を継続中である。特に終局レベルの荷重に対して議論を進めている。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 委員会での全員出席の機会が作れない。